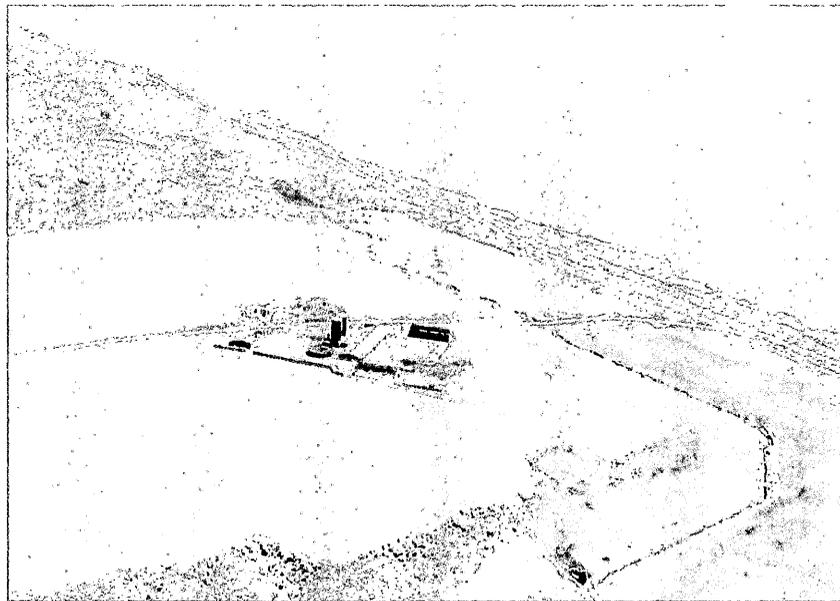


## 乳用育成牛預託システムの現状と課題

三宅 英 彰 (浦幌模範牧場)

### 浦幌町模範牧場経営概要

- ・設置事業名 共同利用模範牧場設置事業
- ・管理、運営主体 浦幌町
- ・供用開始年 昭和52年
- ・草地面積 314.1 ha
- ・預託頭数 夏期放牧 700頭  
冬期舎飼 500頭  
哺育育成 150頭
- ・職員数 9名(正職員1名、準職員5名)



### 牧場の現況

預託状況(11月1日現在)

預託牛: 853頭 利用戸数 34戸

内 哺育牛 170容赦頭 利用戸数 16戸

### 牧場の特徴

集約放牧の実践

哺育牛の受入れ

コンピュータによる管理

発酵牛床の実践

入退牧時の運搬サービス

牛堆肥による汚泥処理

酪農教育ファームの実践

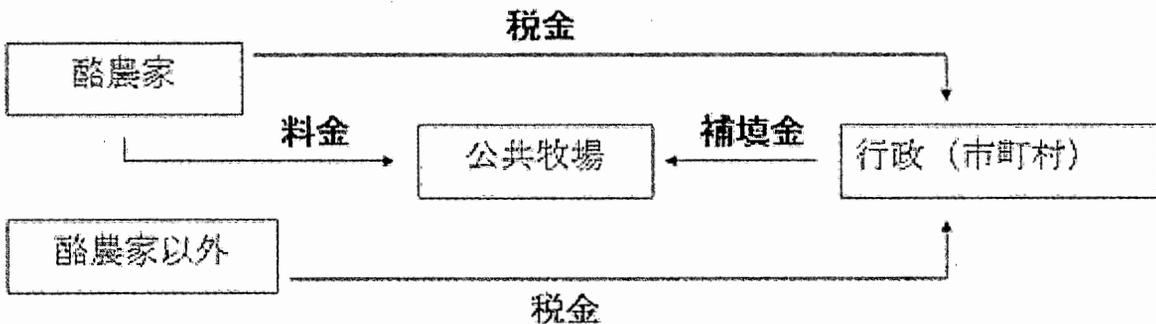
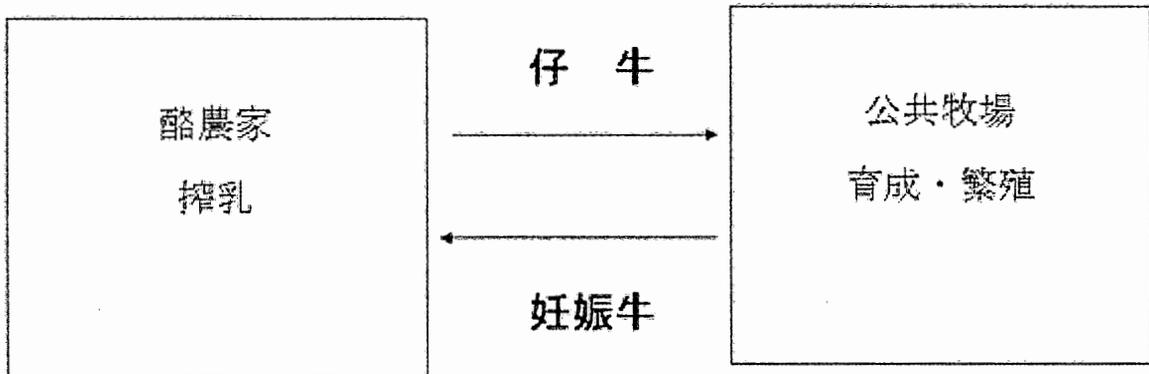
浦幌町模範牧場の経営

項 目	効 果	
集約放牧の実践	肥料費が適正	肥料費の減
	高栄養の放牧	育成の評価が上がる
		入牧頭数の増
放牧管理の効率化	補助飼料の減	
コンピュータによる管理	授精成績の向上	育成の評価が上がる
	牧場作業の効率化	人件費の減
	預託牛管理の適正	人件費の減
入退牧時の運搬サービス	預託者の労力軽減	入牧の促進
発酵牛床の実践	敷料の減	敷料費の減
	敷料交換の労力減	人件費の減
哺育牛からの預託育成	酪農家の労力減	入牧の促進
	若牛の入牧増	入牧期間の延長
下水道汚泥処理施設による堆肥づくり	良質堆肥の作成	肥料費の減

収入の増

支出の減

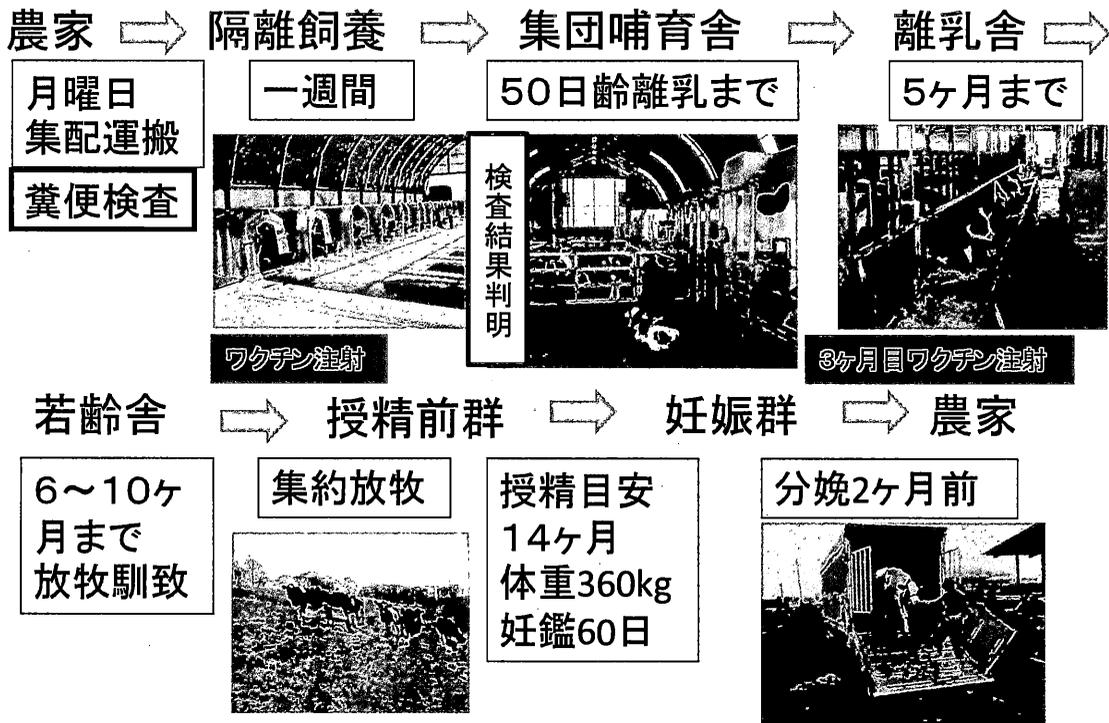
公共牧場のしくみ



公共牧場の現状

従来(設立当初)	現状
<p>地域の酪農振興</p> <p>酪農家の増頭増産の援助</p> <p>扶養家族的育成牛の受託育成</p>	<p>地域の酪農の補完</p> <p>多頭化した酪農家の補完施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・哺育育成</li> <li>・繁殖</li> <li>・飼料供給</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>行政の直営</p>	<p>外部委託</p>

哺育・育成・退牧の流れ



公共牧場の課題

- 公共牧場の専門化
  - ・ 預託のより専門化が求められている
  - ・ 単なる育成の委託から哺育や繁殖のより専門的な要求
- 公共牧場離れ
  - ・ 町内利用の減少
  - ・ 町外（道外）利用の増加
- 経営難
  - ・ 経営コストの見直し
  - ・ 収入源の技術の見直し

浦幌町模範牧場の経営

項 目	効 果			
集約放牧の実践	肥料費が適正	肥料費の減		収入の増
	高栄養の放牧	育成の評価が上がる	入牧頭数の増	
		補助飼料の減		
放牧管理の効率化	人件費の減			
コンピュータによる管理	授精成績の向上	育成の評価が上がる	入牧頭数の増	
	牧場作業の効率化	人件費の減		
	預託牛管理の適正	人件費の減		
入退牧時の運搬サービス	預託者の労力軽減	入牧の促進	入牧頭数の増	支出の減
発酵牛床の実践	敷料の減	敷料費の減		
	敷料交換の労力減	人件費の減		
哺育牛からの預託育成	酪農家の労力減	入牧の促進	入牧頭数の増	
	若牛の入牧増	入牧期間の延長	入牧頭数の増	
下水道汚泥処理施設による堆肥づくり	良質堆肥の作成	肥料費の減		

草地の適正管理 家畜の食べる草づくり

- ・ 施肥方法
  - 基本はN、P、Kではなく微量元素
  - 不足している要素の施用
  - 微生物の餌である有機質(堆肥)の投与
- ・ 放牧方法
  - 短草を維持
  - 常に採食可能な状態に
- ・ 採草方法
  - 栄養価の高い状態で採草
  - 短期間で採草
- ・ 荳科の維持
  - NとPの比率を考慮
  - 消えた荳科も再生可能
- ・ 雑草の対処
  - 施肥でコントロール可能
  - 種類によっては利用可能



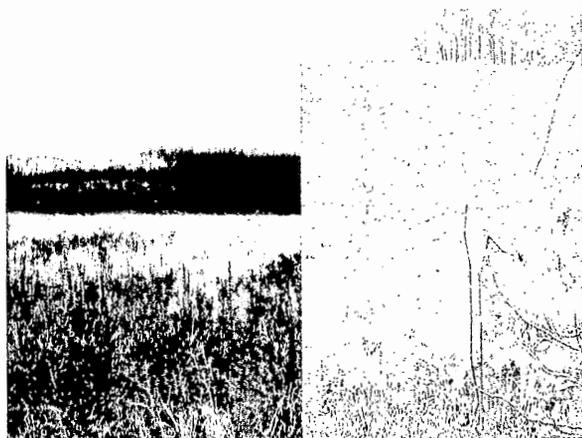
放牧地植生の特徴はシロクローバが多い



兼用利用地もシロクローバが多い



メドウフェスクも上手に活用



採草地のようす：雑草が少ない

**儲かる草地管理例**

- ・短草利用で栄養価を最大に
- ・購入肥料は最小限に(PとCaと微量元素のみ)
- ・堆肥と放牧の糞尿を最大限に利用
- ・自給飼料の組合せを行う
- ・色んな要素をもった草地づくり

**集約放牧実践の要点**

- ・短草利用に慣れる
- ・職員の意思統一
- ・施肥方法
- ・牧区編成
- ・家畜の健康管理
- ・堆肥を含む家畜の糞尿利用
- ・用心深く

**Effect of harvesting efficiency on feed conversion efficiency (dairy)**

Stocking rate (Jersey cows/Hectare)	2.75 (頭)	3.75 (頭)
Pasture eaten t DM/cow	3.9	3.5
t DM/ha	10.8	13.0
Milk produced Kg/cow	4,600	3,850
Kg/ha	12,650	14,440
Efficiencies Pasture utilisation (%)	68	81
Feed conversion efficiency (kg milk/kg DM eaten)	1.17	1.11
Overall efficiency (kg/kgDM grown)	0.8	0.91

**公共牧場として有効利用してもらうために**

- ・育成牧場としてのスケールメリットを生かすこと！
- 個人農家より必ずコストは安くなる。

- ・牛を適正な価格で預かり、丈夫な牛を返すことにより、預けてもらう牛が増える。
- ・放牧で足腰をつくる。目指せ3産以上！